



伊藤先生の

街かど診療室

Q & A

糖尿病網膜症について④

「糖尿病網膜症で緑内障の手術をしました」と言われることがありません。普通に聞くと何のことかと思うかもしれませんが、眼科医であればその人は失明寸前であったことが分かります。

糖尿病網膜症によって、眼球の中に新生血管ができてくることを前



伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

回まで解説しました。この新生血管が勢いをつけると、眼球の奥のほうから前のほうに伸びてきます。そのようなとき、眼科の診察で目の前方を診ただけで、虹彩に普段あるはずのない血管が累々と見られます。この血管は目の中の栄養を司る房水の出口を塞いでしまい、眼球は高度に固くなり、視神経を短期間で機能廃絶させてしまいます(血管新生緑内障)。この場合、薬はほとんど無効で、昔前は手術をしても失明

は免れず、除痛目的に眼球摘出することもあるたほです。

現在は、手術のタイミングさえ問題なければ眼圧をコントロールできる場合が多いです。糖尿病網膜症の方には、定期的な検査を欠かさず受けることが大事です。

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療

■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・金曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	／
14:00~17:00	検査・診察	手術	／	手術	検査・診察	／	／